

令和元年度さいたま市食物アレルギー講演会

最新
知識



子どもの 食物アレルギー

食べて治す!



どうしたらいいの？

食物アレルギーに対する考え方は大きく変化しており、以前に指導されていた妊娠中や授乳中に卵や牛乳を食べない、離乳食を遅らせた方がよいという説は、すでに根拠がないと否定されています。では、どういうことに注意したらアレルギーにならないのか？スキンケアによる経皮感作の予防、食物負荷試験や経口免疫療法といった最新のアレルギー診療、厚生労働省、文部科学省のガイドラインに基づいた給食など集団生活における対応を解説します。

アナフィラキシー



食物負荷試験



エピペンの使い方

講師

さいたま市民医療センター

小児科 診療部長 西本 創 先生

埼玉県やさいたま市の教育委員会、子ども未来局のアレルギー対応マニュアルを監修し、行政と医療機関が連携して、アレルギー疾患に悩む子ども達が不利益なく安全に過ごすことができるよう活動されている。
医師向けの食物アレルギー診療ガイドラインの作成に携わられている。



日

10月26日(土)

時

12:45~15:00

場

(開場12:00~)

所

市民会館おおみや 大ホール

先着1300名様
参加費無料

どなたでも
参加いただけます

お問い合わせ

さいたま市子ども未来局幼児未来部

TEL 048-829-1867(保育課直通)

FAX 048-829-2516